

# 回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第 57 号	平成 26 年 1 月 17 日	伊予市役所	市民福祉部 市民生活課
題 目 (テーマ) : ゴミ回収方法について (その2)			
提 案 内 容 (要 旨)			
<p>私は、平成 18 年度に「ごみ箱から環境を考える学習会」を受講させていただきました。その学習会を受講してから、ゴミについても関心が高まった事も事実です。また伊予市を綺麗な街にするためにも、ゴミは落としたいくないし、資源の少ない日本です。正しく回収して、リサイクルされることを望んでおります。</p> <p>そのようなこともありまして、標記に関して以前目安箱に一度出させて頂きました。重複する点があるかも知れませんが、その点ご容赦ください。</p> <p>私の意見は、ゴミの回収方法は効率的でかつ、資源ゴミを正しく回収してリサイクルさせる事を望んでいます。そして、ゴミの分別回収に協力している市民の気持ちも大切にしたいと思っています。次のゴミ回収方法は如何でしょうか。</p> <p>例えば、ビン類の回収ですが、現在は板材で囲いをした小型トラックで回収しています。板材の高さは、トラックの高さを含めると 3m を超えるでしょうか。そのトラックに作業員が地上から放り込みます。当然ビンですから音を出します。割れるような音もしています。この方法が効率的なのかもしれませんが、割れては後の分別に支障は無いのでしょうか。特に、主婦の方は、資源ゴミなのにあれでよいのかどうか疑念を持っているようです。</p> <p>また、燃える生ゴミ (市役所の指定ゴミ袋で回収されるゴミ) とプラスチックゴミを同じパッカー車 (正確な車の名前は存じませんので誤りがあるかも知れませんが、要するにゴミ回収の専用車) に積み込んで回収しています。(2014 年 1 月 6 日灘町のゴミ回収時、目撃者の意見です。)</p> <p>この方法も効率的なのかもしれませんが、このような回収の方法を見せられると、市民は疑念を抱きます。果たして分別したゴミが正しくリサイクルされているのでしょうかと・・・。プラスチックが生ゴミと一緒に燃やされているのではないかという疑念です。</p> <p>このようなゴミの回収方法で良いのか。市民に疑念を抱かせないようなゴミの回収方法は他にないのか。よろしくご検討してください。</p>			
回 答 内 容			
<p>ご意見をいただきました 1 点目のごみの回収方法につきましては、先の第 47 号で回答したとおりでございますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>次に、2 点目の燃えるごみとプラスチック製容器包装 (以下、「プラ」という。) の同時収集についてお答えいたします。</p> <p>ご案内のとおり年末年始は、家庭からのごみの排出量が増えるのに加えて、12 月 31 日から翌年 1 月 3 日までを収集休みとしていることから、燃えるごみとプラを同じ日に収集する特別日程 (本年度 : 12 月 28 日 ~ 1 月 6 日) を組んでおります。</p> <p>この同日収集の手順を申し上げますと、まず始めに、プラを収集して中間処理施設へ運搬し、その後、燃えるごみを収集して焼却施設へ運搬しています。</p>			

家庭からのごみの排出は、決められた時間（本庁地区：8時30分まで）を守っていただくよう各家庭にお願いしておりますが、年末年始の忙しい時期のためか、プラの収集を終えた後の燃えるごみの収集の際に、再度、プラが排出されている場合が一部に見受けられるようです。

このような場合、燃えるごみだけを収集し、プラはごみステーションに放置するのが厳正な対応といえますが、そのままプラを放置すると、市民の皆さまが、まだ収集車が来ていないものと勘違いし、再度、プラや燃えるごみを排出したり、市や受託業者へ回収を申し立てる事態となるため、燃えるごみを収集する際にプラが排出されていれば、緊急的な措置としてやむなく同時収集し、処分しているところです。

言うまでもなく、定時に排出されたプラは燃えるごみと区別して収集し、再資源化しておりますし、同時収集は年末年始だけの特別な対応でありまして、普段は収集日を違えて燃えるごみとプラが混在しないよう収集しておりますので、何卒、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、こうした問題は、市民の皆さまお一人おひとりに、ごみの排出時間を守る意義を理解していただくことが肝要であり、解決への糸口と考えますので、今後、啓発を行いながら協力を求めてまいり所存でございます。